

## パリ2024オリンピック男子アジア予選

開催日	2023年10月28日（土）	会場	DUHAIL SPORT HALL		
試合	決勝				
チーム名		スコア			チーム名
日 本	32	18	前半	13	バーレーン
		14	後半	16	

No.	名前	得点	戦況
1	中村 匠	0	<p>パリオリンピックアジア予選の決勝は、オリンピック2大会出場を狙う前回大会王者のバーレーン代表と対戦。</p> <p>日本はプレーメーカーに安平、部井久と渡部がバックコート、サイドには泉本と元木、ポストに吉田の布陣。守備はGKに中村、トップDFに部井久、笠原をセンターDF、2枚目DFに渡部と吉田、1枚目DFに元木と泉本を配置した「5-1DF」でゲームスタート。この試合もIHFから派遣された国際審判員のドイツ人ペアが担当。</p> <p>試合開始、日本はバーレーンの「5-1DF」に対して、安平のリードからコンビネーションプレーを展開。最後は部井久が決めて先制。バーレーンも99番ALSAYYADを中心に攻撃を仕掛ける。日本は笠原を中心に5-1DFが機能して、また、GK中村が7MTをセーブするなど好ムードが続く。</p> <p>しかし、安平が不運な退場となり、その間にバーレーンに逆転を許し前半15分で8対9。日本は高野、GK坂井を投入。DFから速攻に結びつけて同点に追いつく。前半22分過ぎから、安平の7MT、吉田のポストシュート、坂井のセーブから吉田の速攻、徳田のカットイン、坂井のセーブから渡部のエンブティシュートで5連取。前半27分で16対12の4点リード。その後、安平がステップシュート、前半終了間際には東江がカットインを決めて18対13で前半終了。</p> <p>後半開始からバーレーン代表は猛攻を仕掛けてくる。日本は後半3分から4連続失点。複数の退場者も出し、後半7分で19対18の1点差。日本はタイムアウトを請求。立て直しを図る。GK坂井と中村の好セーブもあり、吉野のミドルシュート、元木のサイドシュート2本で3連取。再びバーレーンを突き放しにかかる。髙谷と安平の7MTが決まり後半13分で23対19。</p> <p>その後も安平が利き手とは反対の左手でカットインシュートをゴールに捻じ込むなど大活躍。後半20分には、バーレーンの7MTのチャンスをGK中村がセーブ。バーレーンのリバウンドも自らセーブしてスーパーセーブを連発させる。後半26分、29対26の場面でもバーレーンの7MTを中村がスーパーセーブ。直後に吉野がカットインを決めて30対26。日本の勝利を引き寄せる。残り30秒、フリースローから安平がカットインを決め、直後のバーレーンのサイドシュートを中村がセーブして勝負あり。32対29で日本の勝利。</p> <p>優勝した日本は、1988年のソウルオリンピック以来、36年ぶりの自力での五輪出場権を獲得した。</p>
2	安平 光佑	10	
3	徳田 廉之介	0	
7	髙谷 大雅	1	
13	吉田 守一	4	
15	部井久アダム勇樹	2	
17	坂井 幹	0	
19	徳田 新之助	2	
20	渡部 仁	3	
25	元木 博紀	5	
27	玉川 裕康	0	
31	吉野 樹	4	
33	東江 雄斗	1	
37	泉本 心	0	
44	高野 颯太	0	
74	笠原 謙哉	0	